学校番号	3010

令和5年度　工業（映像デザイン）　　科

教科	工業	科目	映像デザイン実習	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	CG&映像しくみ事典（CGWORLD）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン科の主要分野（写真・ビデオ・グラフィックデザイン）のうち、ビデオ作品制作に関する基礎的な知識と技術を講義と実習を通して学びます。さまざまな機材の正しい使い方と技術を身に付け、作品になるまでの工程を体験します。ビデオの特性を理解し、工夫を凝らした作品制作の基礎力と応用力を養います。授業では作品制作にかかわる真摯な態度と提出物を重視します。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

ビデオ、動画作品制作の基本的な態度と技術を身に付けるにあたって、次のとおり育成することを目指す。 (1)さまざまな機材の正しい使い方と技術を学ぶ。 (2)グループワークを通して一人では気づけない課題の発見、共有を行う。 (3)機材の扱いに慣れることで、その経験を今後の制作活動に活かせるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビデオの作品制作について知識や技術を習得する。	実習（ビデオ作品制作)に関する課題を発見し、表現する力を養う。	実習（ビデオ作品制作)に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び映像デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ビデオ制作演習	基本ショットの名称やその心理効果について理解する。また、実際のCMから基本的なカメラワークや画面構成を学ぶ。	a:機材・アプリケーションの使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:写真作品制作に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
2	ビデオ制作基礎①	各自テーマに沿ったビデオ作品の企画、シナリオ、絵コンテを作成し、グループで撮影、編集を行う。	a:機材の使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:ビデオ作品制作に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
3	ビデオ制作基礎②	画像処理、音調整を行い、オリジナルビデオ作品を制作する。	a:機材・アプリケーションの使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:ビデオ作品制作に関する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度